

第2回 たてやまラテンフェスティバル《ブラジル編》

2nd TATEYAMA LATIN FESTIVAL 10/10 sat. 2020

Tributo à Música Brasileira

2020年10月10日(土)

《チケット》前売3,000円 当日3,500円

高校生以下1,000円(当日券のみ)

●お問合せ・チケットのお申込は、たてやまラテンフェスティバル
実行委員会事務局(寺西) 090-8453-9181まで



14:00開場 14:30開演

《会場》前売りチケットを販売しています。

千葉県南総文化ホール
小ホール 館山市北条740-1 TEL.0470-22-1811

Choro Virtual (Choro)



中川恭太(クラリネット)



大道寺崇(カバキニーニョ)



尾花毅(7弦ギター)



西村誠(パンデイロ)

Mayra Trio (Bossa Nova)



宮崎 Mayra 友紀子
(ヴォーカル)



マツモニカ
(クロマチック・ハーモニカ)



越田太郎丸(ギター)

《出演》順不同

Mayra Trio (Bossa Nova)

宮崎 Mayra 友紀子(ヴォーカル)
マツモニカ(クロマチック・ハーモニカ)
越田太郎丸(ギター)

Choro Virtual (Choro)

中川恭太(クラリネット)
大道寺崇(カバキニーニョ)
尾花毅(7弦ギター)
西村誠(パンデイロ)

Asa Blanca (Brazilian Jazz)

深津純子(フルート、ヴォーカル)
高島真悟(キーボード、アコーディオン)
八尋洋一(ベース)
イデノアツシ(パーカッション)

Asa Blanca (Brazilian Jazz)



深津純子
(フルート、ヴォーカル)



高島真悟
(キーボード、アコーディオン)



八尋洋一(ベース)



イデノアツシ(パーカッション)



ジョン・グレゴリーほか

地元ミュージシャンの皆さま

翌10/11 sun. AM10:00から
コミュニティガーデン Leaf & Rootにて…
プロミュージシャンによるワークショップ開催!!
(パーカッション、ギター、アンサンブルコースなど…)
参加ご希望の方は上記事務局へお申し込みください。

- 検温、消毒等コロナ対策を実施します。
- 定員50%に制限します。ひとつおきの着席にご協力ください。
- 熱がある、咳がでるなど、体調の悪い方はご参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

主催:たてやまラテンフェスティバル実行委員会

Community Garden Leaf & Root(リーフエンルー) TEL.0470-29-2835
<https://leaf-and-root.com/latin-fes> E-mail: info@leaf-and-root.com



コンサート後のお食事・お泊まり情報

お得なプランを利用して館山滞在をフルに楽しもう!!
館山市観光協会 <https://tateyamacity.com>



第2回 たてやまラテンフェスティバル《ブラジル編》

さまざまなブラジル音楽を楽しめるショーケース。
活躍中のミュージシャンがここでしか聴けない音楽を奏でます。

《出演者プロフィール》

《Mayra Trio》歌姫、宮崎友紀子と、千葉県ゆかりのミュージシャン、マツモニカと越田太郎丸によるボサノバトリオ



宮崎 Mayra 友紀子

(みやざき・マイラ・ゆきこ)
東京在住、大阪府出身。2009年 米・パークリー音楽大学プロフェッショナルミュージックメジャー卒業。2009年さいたま新都心ジャズボーカルコンテスト、2010年岡崎ジャズ

ボーカルコンテスト共にグランプリ受賞。2016年に発売された「CRYSTAL BOSSA TOKYO」はAmazonボサノバ売れ筋ランキング1位を獲得。ジャズ、ブラジル音楽、日本童謡、オリジナルなどレパートリーは幅広く、音楽ジャンルにとらわれない多彩な表現力を持ち合わせるボーカリスト。その人間味あふれる楽しいステージは「誰をも元気にさせる音楽」と高い評価を得ている。



マツモニカ

クロマチック・ハーモニカ(半音階も演奏できるハーモニカ)奏者。
1995年、「ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス」(クロマチック・ソロ部門)で優勝。その後、ジャズやブラ

ジル音楽を中心に幅広い分野で活動。これまでに由紀さおり、大貫妙子、松山千春、トニー・オルタ、小野リサ等、数多くのアーティストのライブやレコーディングに参加。更にTVや映画のサウンドトラック、CMのレコーディングにも数多く参加。最新の主要参加プログラムはNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」。



越田太郎丸

(こしだ たろま)
9歳からギターを始め大学時代よりプロ活動開始。アントニオ・カルロス・ジョビン、トニー・オルタ、ジョアン・ボスコなど主にブラジルのアーティストから作曲、編曲、奏法の影

響を受けブラジル音楽を軸に演奏活動を展開。ブラジル音楽をこよなく愛するも、その活動はブラジル音楽の範囲にとどまらず、これまでに中森明菜、岩崎宏美、辛島美登里、姿月あさと、遊佐未森、石丸幹二、香寿たつき、葉加瀬太郎、Jazztronik、coba、Le Velvets、瀬木貴将、NAOTO、ウェイウェイウー、Yae、中孝介、城南海(順不同)など 様々なアーティストのライブサポートやレコーディングに参加。

ブラジルの伝統的室内音楽「ショーロ」をこよなく愛す腕利きメンバーからなる《Choro Virtual》



尾花毅(おばな たけし)

7弦ギター
ブラジル音楽といえば、ベースのかわりにベースとギターを兼ねて演奏する7弦ギターが活躍するが、この楽器の深く美しい音色と華麗なテクニクの魅力を余すことなく伝えることのできる日本で数少ないプレイヤー。様々なユニットに参加する他、ブラジルからの来日アーティストのサポート等、数多くのライブを行っている。



中川恭太(なかがわ きょうた)

クラリネット
ジャズピアニスト愛好家の子供として育ち、20代後半まではピアニストとしてブルースや南部アメリカ音楽を専門としていたが、2005年頃よりショーロに目覚め、2010年以降は在日ブラジル人との共演が活動の主軸となる。クラリネットのほか、テナー・サクソ、ピアノやコントラバス、ギターなどもこなすマルチプレイヤー。



大道寺栄(だいでうじ さかえ)

カバキニーヨ
ブラジルを代表するカヴァキニーヨ奏者、ルシアナ・ハベロ氏に師事。ブラジルで音楽研鑽のかヴァキニーヨ奏者としての活動をスタート。ブラジル、リオデジャネイロの国営ラジオ公開生放送ライブに3年続けて出演し、「コンジュント・エボカ・ヂ・オウロ」と共演。サンバ、ショーロをベースに様々なシーンで活躍中。



西村誠(にしむら まこと)

パンデイロ
1980年大学在学中にブラジル音楽と出合いパンデイロの演奏を始める。1981年、笹子重治氏(ショーロクラブ)が最初に作ったショーロのグループに参加。以降、長きにわたって、日本のサンバやショーロシーンをサポートする日本の草分け的パンデイロ奏者。

《Asa Blanca》館山ふるさと大使、深津純子ひきいるブラジリアン・ユニット

Asa Blanca(白い翼)とは、ブラジルの第二の国家とも言われる曲のタイトル。

不毛な土地を緑豊かに変えるスピリットを歌ったもので、音楽で人の心に平和と豊かさをもたらしたいという願いがこめられている。



深津純子(ふかつ すみこ)

フルート&ヴォーカル
今までに9枚のリーダーアルバムを発表。2002年のアルバムではブラジル音楽の巨匠ドリ・カミと共演した。ブラジルやキューバなどラテン系の国際交流も多く、今年一月にはハバナ国際ジャズフェスティバルに自己のグループを率いて出場、好評を得る。ライブ活動とともに、自然豊かな館山の地で、音楽文化を普及させる為の活動を行っている。



高島真悟(たかしま しんご)

キーボード&アコーディオン
幼少期より、クラシックギタリストだった父や声楽を趣味にしていた母の影響で、音楽に親しむ。大学時代にジャズに出会い、卒業後ジャズピアニストの安井さち子氏に師事。ジャズを始めボサノバやラテン、ポップスやシャンソン、演歌に至るまで、ジャンル・編成を問わず国内外の著名アーティストと数々の共演を重ねる。幅広いジャンルや編成に対応できる柔軟な音楽性や、豊かな感性から生まれる独創的なアレンジは、多くの演奏家に支持されている。



八尋洋一(やひろ よういち)

ベース
10代をスペイン領・カナリア諸島で過ごし、ラテン音楽に精通する。帰国後、ブラジリアン、ラテン、ロック、ジャズ、フュージョンなど、幅広い分野で活躍。国府弘子、小野リサ、ヘブン等、数多くのアーティストのCDやライブに参加。身体ごとグルーブする圧倒的なリズム感とグルーヴ感日本人離れしており、音楽の躍動する魅力を存分に伝えるベーシスト。



イデノアツシ

パーカッション
学生時代、DJとしてキャリアをスタート。その中でブラジル系ミュージシャンに多大な影響を受け、パーカッション奏者となる。May J.、ゲントウキ、堀込泰行(キリンジ)等のPops系アーティストサポートからブラジル、Jazzのレコーディングやライブ演奏に至るまで、観て聴いて感じさせる体感型の演奏で観客を魅了している。

